

アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ



空冷・水冷
ヒートポンプ

贈呈理由 > ガス焚吸収式冷温水機から空冷ヒートポンプへの転換により、実務的な負担軽減とともに大幅な省エネを実現



ホテル外観

「アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ」は、1967年創業の福岡市内で最も長い歴史を有する「福岡山の上ホテル」を前身としており、2013年9月にリニューアルオープンした。

当ホテルは福岡国際空港からわずか30分と言う都心部にありながら、喧噪から離れた高台の木々に囲まれた、市内を一望できる随一のロケーションに位置している。

コンセプトは「Excitement & Tranquility ~動と静~」。

福岡の賑やかさや楽しさと言った「動」と、ホテルが演出するホスピタリティー「静」の世界の双方を体験できる福岡のアーバンリゾートステイを楽しんでいただけるホテルとなっている。

当ホテルの宴会場や客室への空調システムは、ガス焚吸収式冷温水機〔528kW×2基 1997年〕であったが、当時、設置後17年を経過しており、設備老朽化によるトラブルおよび修繕

費の増大が顕在化してきたこと、また運用管理の手間が課題となっていたことから、更新の検討を開始した。

今回の空調設備更新検討では、年間を通じ安定した快適空間をご提供するため、故障リスクを最小限にできる仕様とすること、従来設備では東館と西館を別々の熱源機で個別に制御していたため、一括管理できるようにすることなどの要望が上がった。

これにより、上記要求事項を満たし、ガスから電気への熱源転換を行うことで、エネルギーコストの低減とともに、CO₂排出量の削減も図ることができる空冷ヒートポンプチラーへの置き換えを行うこととなった。

今回の置き換えではモジュールタイプの空冷ヒートポンプチラーを採用したことにより、設備の信頼性も向上し、また旧設備では業者に頼んでいた冷暖切り替え作業が不要となったこともメリットのひとつとなった。

「アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ」は、今後もお客さまに快適な滞在をお約束しつつ、省エネルギー、環境負荷の低減にも貢献していく。



空冷ヒートポンプチラー

アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ

所在地：福岡県福岡市中央区韓国1-1-33
 建築設計：総合システム管理(株)
 建築施工：三建設備工業(株)
 延床面積：15,007.6㎡
 竣工：2013年3月（更新）

■設備概要

空冷ヒートポンプチラー 150kW×5台
 [東芝キャリア]